

国立市都市計画マスタープラン 現行計画の点検・評価

都市計画マスタープランの点検・評価

都市計画マスタープランについて

【「都市計画」とは】

- ▼よりよいまちを実現するための、法律に基づいた「まちの設計図」
- ▼まちづくりを誘導・コントロールするための「ルール」

【都市計画で定める主な内容】

都市施設：生活に必要な施設（道路・公園・学校・上下水道等）をどこにつくるか
土地利用：その場所の用途（住宅地、商業地、工業地など）をどうするか など

（参考）国立インター入口交差点付近の場合

平成29年（2017）都市計画図



都市施設：道路の計画線が引かれている
土地利用：低層住宅のための地域

令和7年（2025）都市計画図（GIS）



都市施設：計画に基づき道路整備が進展
土地利用：住宅を中心に一定規模の店舗や事務所等も建築可能な地域

【「都市計画マスタープラン」の役割】

まちづくりの方向性の提示

- ▼都市の将来像とまちづくりの方向性を総合的かつ体系的にわかりやすく提示

各種計画・取組の相互の連携強化

- ▼各分野における計画や取組と互いに連携し調整を図るため、まちづくりに関する考え方を総合的に集約

都市計画の決定及び変更の根拠

- ▼都市施設（道路や公園など）や土地利用などの具体の都市計画を定めるうえでの根拠

市民等と連携したまちづくりの指針

- ▼多様な主体（行政・市民・事業者等）が連携し、まちづくりの考え方を共有するための指針

【計画の点検・評価と見直し】

【計画書における記載】

5年を目途として定量的な指標等を活用した市民参加による進捗状況の分析・評価を実施したうえで、必要と認められた場合には、基本的な理念を尊重しながら見直しを行う。



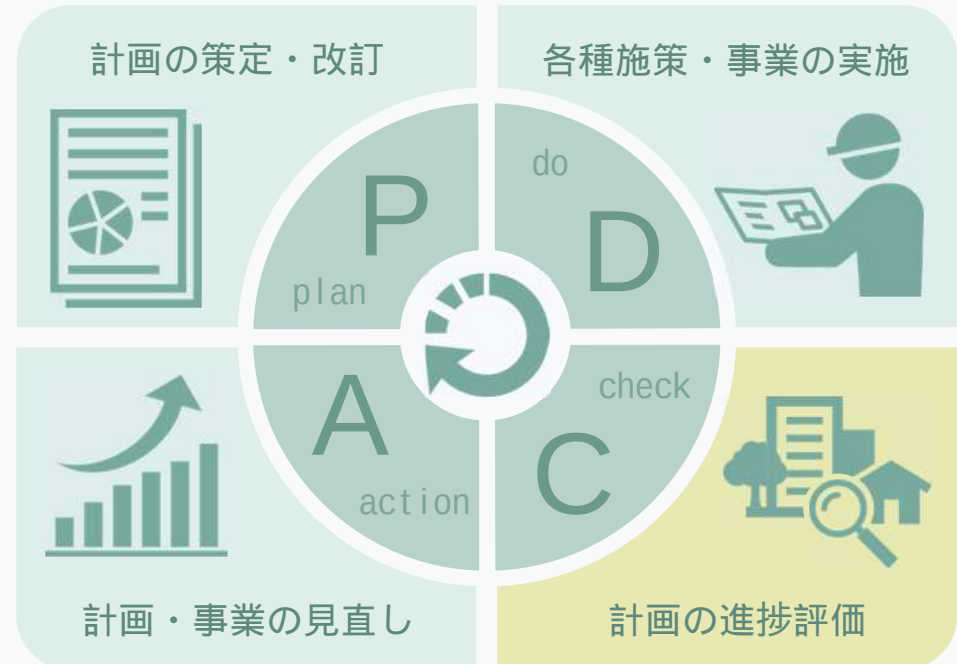
国立市都市計画マスタープラン
第二次改訂版 [H30 (2018)]



市民ワークショップの様子

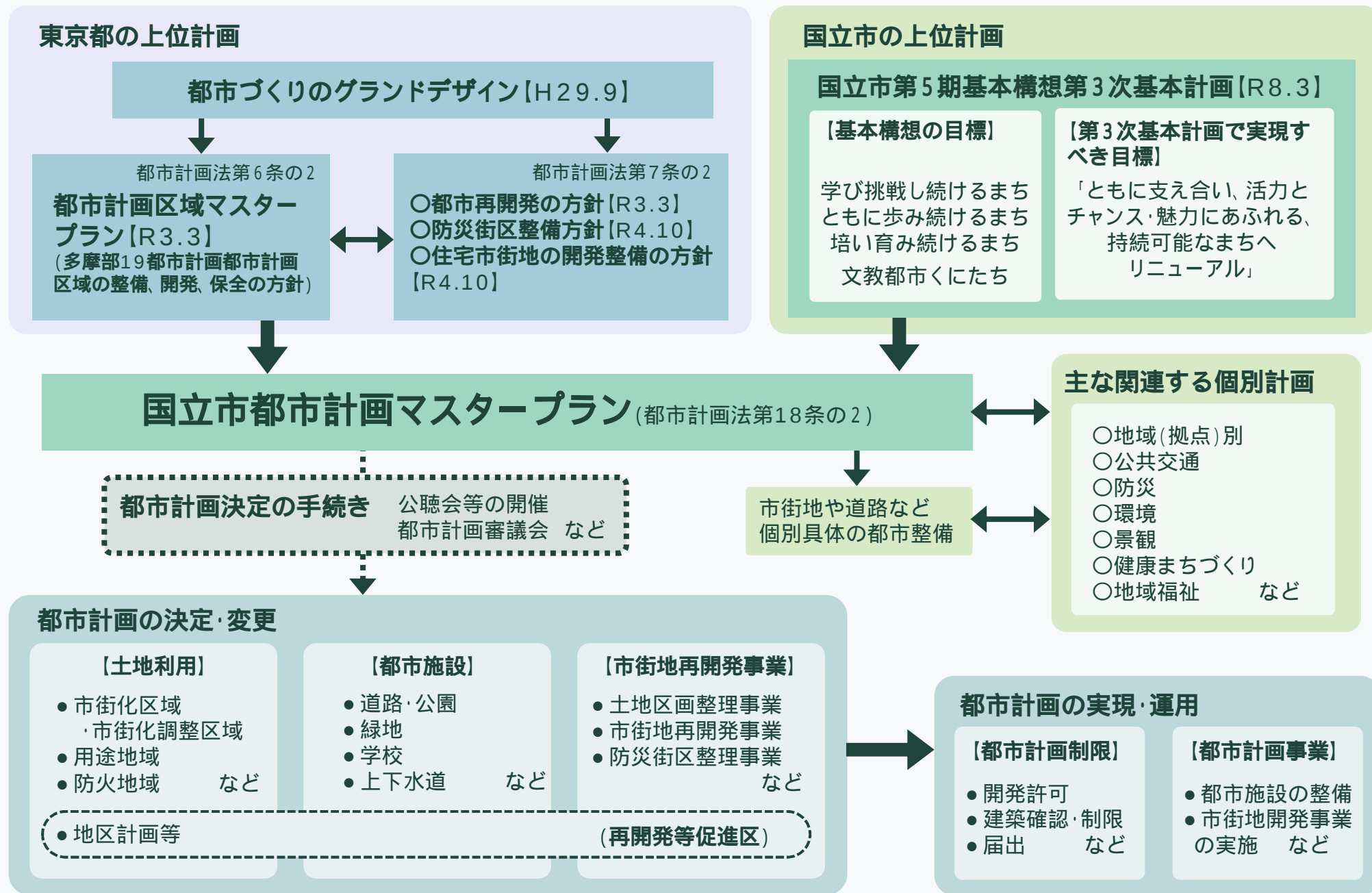
【令和7年度取組】

- ▼市民アンケート調査
- ▼こどもアンケート
- ▼近隣自治体市民アンケート
- ▼市民ワークショップ など



(参考) 都市計画マスタープラン 関連フロー図

国立市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき、東京都が定める「都市計画区域マスタープラン(多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発、保全の方針)」を踏まえつつ、国立市が「国立市総合基本計画第5期基本構想」に掲げたまちづくりの目標の実現に向け、都市計画に関する基本方針を明らかにしたもので、国立市が都市計画の決定・変更や個別具体の都市整備を実践する際は、本計画に基づき進めることになります。



都市計画マスタープランの点検・評価

○：完了済 ○：事業中

計画期間内(平成30年～令和7年)
に実施した主な取組

▼国立第二小学校建替え

▼南武線沿線地区まちづくり
(矢川上土地区画整理区域の廃止、
地区計画策定に向けた取組)

▼矢川プラスの整備

▼JR南武線連続立体交差事業
(鉄道と道路の立体交差化等)

▼南武線沿線地区まちづくり
(矢川駅周辺地区のまちづくり)

▼南第41号線道路整備

▼緑の保全
(「矢川おんだし」を
都の保全地域に指定)

市内全域に係る取組

- ▼南部地域整備基本計画の改定
- ▼富士見台地域重点まちづくり構想の策定
- ▼健康まちづくりプランの策定
- ▼ビジネスサポートセンター「Kuni-Biz」を開設
- ▼新規企業の誘致や既存企業の増設の促進
- ▼農地の保全(特定生産緑地の指定)
- ▼狭あい道路の拡幅
- ▼都市景観形成条例及び大規模行為景観形成基準に基づく協議・指導の実施
- ▼総合防災計画の修正
- ▼公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づく公共下水道の更新 など

▼国立都市計画道路
3・4・8号線の整備

▼国立駅北口・南口駅前広場整備
▼旧国立駅舎の再築・活用
▼国立駅南口子育ち・子育て応援テラスの整備
▼国立駅周辺の道路整備
(国立都市計画道路3・4・10号線
西第1条線、北第1号線、東第1号線など)

▼東第2条線の歩道拡幅

▼さくら通りの再整備

▼国立都市計画道路
3・4・5号線の整備

▼富士見台地域重点エリアの
土地利用方針の検討

▼南武線沿線地区まちづくり
(谷保駅周辺地区のまちづくり)

▼国立都市計画道路
3・3・2号線の整備

▼南第33号線等道路拡幅工事

▼生産緑地の公有地化
(都市計画公園(城山公園)の拡張)

▼橋の更新・拡幅

▼自然景観・緑地の保全
(崖線樹林地の公有地化)

都市計画マスタープランの点検・評価

分野ごとの主な成果と課題

現行計画期間内での主な成果

次期計画にて検討すべき主な課題・取組

1 地域特性にあわせた土地利用

- ▼ 富士見台地域重点まちづくり構想の策定
- ▼ 国立駅周辺（北・南口広場、周辺道路）の整備
- ▼ JR南武線連続立体交差事業と連携したまちづくり

- ▼ 富士見台地域重点エリアの土地利用方針や国立駅・谷保駅・矢川駅周辺のまちづくりの検討
- ▼ 都市計画道路整備に伴う沿道等の土地利用の検討

2 水と緑と生き物を大切にするまちづくり

- ▼ 生産緑地の公有地化による都市計画公園の拡張（城山公園）
- ▼ 緑の保全（矢川おんだしを都の保全地域に指定）

- ▼ 公有地・民有地におけるみどりの保全・創出と生物多様性の保全
- ▼ ゼロカーボンシティに向けたまちづくり・推進

3 安心して豊かに暮らせるまちづくり

- ▼ 子育て環境の整備（矢川プラス、国立駅南口子育て・子育て応援テラス）
- ▼ 健康まちづくりプランの策定

- ▼ ウォーカブルなまちづくりの推進
- ▼ 空家等の適正管理の推進
- ▼ 公共施設の計画的な保全・再編

4 地域を活性化する産業振興

- ▼ 旧国立駅舎の再築や活用による賑わい・交流の創出
- ▼ 新規企業の誘致や既存企業の増設の促進
- ▼ 農地の保全（特定生産緑地の指定）

- ▼ 国立駅・谷保駅・矢川駅周辺の活性化・にぎわいの創出
- ▼ 農の営みが残る原風景の保全

5 安全で快適なみちづくり

- ▼ 主要な道路（さくら通り、国立3・4・10など）や狭あい道路の拡幅
- ▼ 既存道路の改良（東第2条線、南第33号線など）

- ▼ 都市計画道路の計画的な整備
- ▼ JR南武線連続立体交差事業に伴う道路の整備
- ▼ 地域の特性に応じた多様な交通手段の確保

6 美しい景観を大切にするまちづくり

- ▼ 都市景観形成条例及び大規模行為景観形成基準に基づく協議・指導の実施
- ▼ 自然景観・緑地の保全（崖線樹林地の公有地化）

- ▼ 崖線、矢川などの自然や農の景観の保全
- ▼ くにたちらしい街並みの保全
- ▼ 重要景観資源の指定

7 安全に暮らせる災害に強いまちづくり

- ▼ 総合防災計画の修正
- ▼ 公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づく公共下水道の更新

- ▼ 日常的な安全と災害時の避難を支える道路整備やインフラ施設の計画的な更新
- ▼ 局地化・激甚化する豪雨等への対策

点検・評価の見方

現行計画で
位置付けている施策

現行計画の指標による評価

- ▼ 指標による評価は計画当時の数値(左)から実績値(右)が向上している場合は**朱書き**で記載
- ▼ 目標値の達成状況については、右記例のようにカードの色で分類

(例) 計画当時の数値が50%
目標値が70%の場合

目標未達成の指標
(数値は維持・低下)

50% (2016) → 50% (2024)

目標未達成の指標
(数値は向上)

50% (2016) → 65% (2024)

目標達成の指標

50% (2016) → 75% (2024)

分野ごとの点検・評価

5 安全で快適なみちづくり

現行計画における取組状況

計画的な道路整備の推進

既存の道路空間の安全性・快適性の向上

だれもが安心、安全な道路のユニバーサルデザイン化及びバリアフリー化の推進

地域の公共交通体系の充実

自転車の安全利用の推進

【実施した主な取組】

- ▼都市計画道路の整備(3・4・10)
- ・事業認可取得(3・4・8)
- ▼道路等長期修繕計画に基づく計画的な道路補修
- ▼コミュニティサイクルの駐輪ポート増設など

【継続する主な取組】

- ▼都市計画道路等の整備の推進
- ▼南部地域における道路整備の推進
- ▼JR南武線立体交差事業に伴う踏切対策
- ▼自転車通行空間の整備 など

道路施設に起因する事故
件数(4年累計) <目標:0件>

2件 (2013~2016) → 1件 (2021~2024)

都市計画道路の整備率
<目標:40.5%>
38.1% (2016) → 46.0% (2024)

歩道の改良率
<目標:28.9%>
18.3% (2016) → 26.7% (2024)

自転車駐車場の定期利用
待機者数 <目標:0人>
414人 (2016) → 0人 (2024)

コミュニティバス「くにっこ」の
年間乗車人員 <目標:300,000人>
278,160人 (2016) → 298,859人 (2024)

【主な市民意見】

◇: アンケート ○: ワークショップ



○市全体で交通量が少ない
○JRの2路線利用できて歩ける範囲



◇都市計画道路の整備について
自然環境の保全を踏まえた検討が必要
◇「自転車・歩行者の通行環境」
や「公共交通」の充実が必要。
○歩行者・自転車・自動車が交錯して危険
○自転車で周遊できるまちになってほしい。



【まちの現状・社会動向】

都市計画道路
第五次事業化計画における優先整備路線の延長(都・市施行)
2026-2040
2,600m

交通事故
人口千人あたり交通事故件数
2023
多摩26市中
8番目に多い

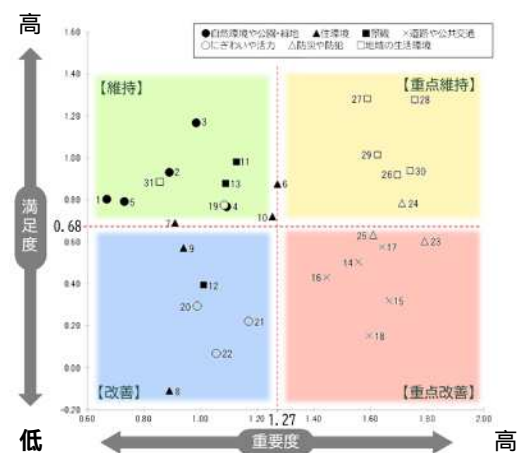
自転車
シェアサイクル利用者数
2019.5→2024.4
1,100%増加
(約1,000人→約11,000人)

【主な課題・取組】

- ▼道路網を構成する都市計画道路の整備・狭あい道路拡幅等の推進
- ▼JR南武線連続立体交差事業に伴う道路の整備
- ▼安全で快適な自転車歩行者空間の整備
- ▼地域の特性に応じた多様な交通手段の確保など

市民アンケートによる各分野ごとの満足度(縦軸)×重要度(横軸)の評価

- ▼ 全施策の満足度・重要度の平均値を基準に評価
- ▼ グラフの4つのエリアは次のように分析
- 満足度:高/重要度:高(グラフ右上)
= 重点的に現状維持を図る施策【重点維持】
- 満足度:高/重要度:低(グラフ左上)
= 現状維持を図る施策【維持】
- 満足度:低/重要度:低(グラフ左下)
= 改善の必要がある施策【改善】
- 満足度:低/重要度:高(グラフ右下)
= 重点的に改善を図る必要がある施策【重点改善】



本図は本計画内の施策に基づくアンケート結果の相対評価(平均値基準)であり、市政全般の評価ではありません。

分野ごとの点検・評価

1 地域特性にあわせた土地利用

現行計画における取組状況

各地域の特性にふさわしい
土地利用の誘導

活気に満ちた
都市・地域拠点の形成

自然環境と住環境が調和
した市街地整備の推進

良好な自然環境の
保全・育成

土地利用の規制・誘導手法
の柔軟な活用

【実施した主な取組】

- ▼ 南部地域整備基本計画の改定
- ▼ 富士見台地域重点まちづくり構想の策定
- ▼ 国立駅周辺（北・南口広場、周辺道路）の整備
- ▼ JR南武線連続立体交差事業と連携したまちづくりに関する取組
- ▼ 用途地域の見直し など

【継続する主な取組】

- ▼ 国立富士見台団地と再生に向けた取組との連携
- ▼ 国立駅周辺の都市拠点の形成
- ▼ 谷保駅及び矢川駅周辺の地域拠点の形成 など

平成30年1月1日現在
に比べ、人口が減少した
地区の数<目標:0地区>

- 12地区
(2018) (2024)
町名地番変更により比較ができない
地区は除外

「国立市南部地域整備
基本計画」に基づく
市街地整備の進捗率
<目標:> 93.9%

74.7% (2016) **92.0%** (2023)

「国立駅周辺まちづくり基
本計画」に基づく駅周辺ま
ちづくり事業の進捗率
<目標: 87.9%>

51.3% (2016) **80.1%** (2024)

【土地利用に関する市民意見(アンケート結果)】

前回(2016)
調査との比較

住宅地



▼ 緑化や高さ制限による街並みの保全を望む声が多い

▼ 個人の土地や建物に対しての制限の在り方については、前回調査時と同様に、「必要最小限にとどめること」を望む声が最も多い

土地・
建物

産業地



▼ 現状維持を望む声が最も多い

▼ 地域経済の活性化や住環境の改善のため、新たな産業・業務用地の確保を求める声が増加傾向

商業地



▼ 市内商業地のさらなる活性化を求める声が多く、中でも「身近な商店街の充実」が最も多い

▼ 「車で利用しやすい道路沿いの店舗の充実」が増加傾向

【まちの現状・社会動向】

将来人口推計

2025 2045
総人口



ほぼ横ばい

人口構成

0~14歳人口

24%減少

(8,208人 6,223人)

65歳以上人口

39%増加

(18,640人 25,953人)

生産緑地

2016 2025

12%減少

(45.24ha 39.80ha)

【主な課題・取組】

- ▼ 富士見台地域重点エリアの土地利用の検討
- ▼ 国立駅・谷保駅・矢川駅周辺のまちづくりに伴う土地利用の検討
- ▼ 都市計画道路整備に伴う沿道等の土地利用の検討
- ▼ 多面的な機能を有する土地としての生産緑地地区の保全・活用 など

分野ごとの点検・評価

2 水と緑と生き物を大切にするまちづくり

現行計画における取組状況

ゆとりとうるおいのある
親水空間づくりの推進

水循環の推進

地域ぐるみでの緑豊かな
まちづくりの推進

下水道の適切な
維持管理の推進

【実施した主な取組】

- ▼ 緑の基本計画及び生物多様性地域戦略策定
- ▼ 「矢川おんだし」を都の保全地域に指定
- ▼ 民有崖線樹林地の公有地化
- ▼ 民有地の住宅新築時の雨水浸透ますの設置依頼
- ▼ 生産緑地の公有地化
(都市計画公園(城山公園)の拡張) など

【継続する主な取組】

- ▼ 地下水及び湧水の保全
- ▼ 自然環境保全のための崖線樹林地の公有地化
- ▼ 公園・緑地の機能充実
- ▼ 民有地の緑の保全・創出 など

国立市はみどりが十分
にあるまちだと思う市
民の割合<目標:55%>

49.5% (2017)  86.9% (2024)

湧水の測定地点におけ
る環境基準の達成率
<目標:100%>

92% (2016)  100% (2024)

雨水浸透ますの設置数(累計)
<目標:>22,400基

15,032基 (2016)  23,090基 (2024)

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



自然資源が豊かなまち
○ ママ下湧水やハケのみどりが
よい
○ 多摩川の環境が重要
○ ごみの減量が進んでいる

○ 東～西地区にみどりが少ない
○ 湧水をもっと周知・活用した
ほうが良い
○ 猛暑対策としての街路樹の
整備・管理遅れ



【まちの現状・社会動向】

緑被率

2013 2023

2%減少

(30.0% 28.0%)



外来種数

2001
2014～2024

約4倍
増加

(21種 90種)



気候変動

10年ごとの猛暑日
(35度以上)平均日数
1976-1985
2016-2025

約18倍
増加

(0.9日 16.4日)



【主な課題・取組】

- ▼ 公園・緑地の機能充実
- ▼ 公有地・民有地におけるみどりの保全・創出と、生物が移動できる環境(エコロジカルネットワーク)の形成を通じた生物多様性の保全
- ▼ ゼロカーボンシティに向けたまちづくりの推進 など

分野ごとの点検・評価

3 安心して豊かに暮らせるまちづくり

現行計画における取組状況

良好な住環境の保全・形成

文教都市にふさわしい
子育て環境の充実

環境への負荷の少ない
まちづくりの推進

公共施設等のマネジメント
の推進

健康・医療・福祉の
まちづくりの推進

【実施した主な取組】

- ▼健康まちづくりプランの策定
- ▼参加型まちづくりワークショップ「クラブサバーク」を開催
- ▼矢川プラス等の開設 など

【継続する主な取組】

- ▼道路や公共施設などのユニバーサルデザイン化及びバリアフリー化
- ▼空き家の適正管理・活用
- ▼公共施設等マネジメントの推進 など

南部地域が魅力的だと思
う市民の割合

<目標:62.3%>

42.8% (2016) → 49.1% (2024)

大気汚染、水質汚濁、騒音、
振動の環境基準の達成率

<目標:100%>

92%() (2016) → 92% (2024)

調査地点削減等による数値の補正あり

「地区まちづくり計画」
を策定した地区の数

<目標:4地区>

0地区 (2016) → 0地区 (2024)

富士見台地域の居住人口

<目標:>17,200人

17,430人 (2016) → 17,145人 (2024)

「公共施設再編計画」の
当該年度の進捗率

<目標:100%>

【評価中】

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



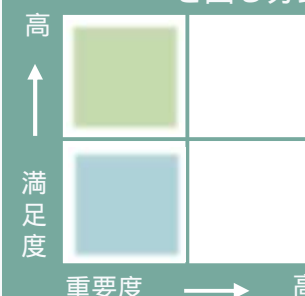
静かで質の高い住環境
犯罪や事故の少ないまち
○コンパクトシティで街を感じ
やすい
○文教地区に指定されている

ファミリー向けなどの比較的
安価な賃貸住宅が少ない
○沿道の建築物と周辺住宅地
における住環境
○空家率が高いのに空き家の
活用対策ができていない



満足度/重要度
分析結果

現状維持・
改善
を図る分野



【まちの現状・社会動向】

要介護
(要支援)
認定者数

2016 2024

24%増加

(3,328人
4,116人)



空き家

住宅総数に対する
空き家の割合
(賃貸用含む)2023

多摩26市中

2番目に多い
(13.5%)



犯罪

人口千人当たり
刑法犯認知件数
2025

多摩26市中

13番目に少ない
(5.59件)



【主な課題・取組】

- ▼ウォーカブルなまちづくりの推進
- ▼誰もが安心して住み続けられる住まいづくり
- ▼空家等の適正管理の推進
- ▼公共施設の計画的な保全・再編 など

分野ごとの点検・評価

4 地域を活性化する産業振興

現行計画における取組状況

魅力ある商店街づくり
の推進

【実施した主な取組】

- ▼旧国立駅舎開業
- ▼企業誘致促進事業の実施
- ▼ビジネスサポートセンター「Kuni-Biz」開設
- ▼特定生産緑地の指定
- ▼生産緑地マッチング支援事業を開始 など

企業誘致の促進

都市と農業が共生する
まちづくりの推進

【継続する主な取組】

- ▼個性豊かな魅力ある商店街づくりの推進
- ▼駅及び幹線道路沿いの商業地の活性化
- ▼企業誘致や既存企業の移転・増設の促進
- ▼都市農地の保全や都市農業の振興 など

小売吸引力数
<目標:0.82>

- (2016)  0.87 (2021)

農地面積の減少率

(対前年比) <目標:1.89%>

2.15% (2014)  5.45% (2025)

誘致企業数(累計)

<目標:18事業所>

10事業所 (2016)  17事業所 (2024)

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



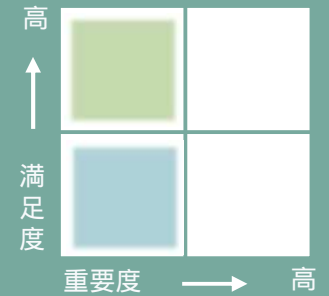
近隣市からの来訪理由は飲食利用者が最も多い
○チェーン店が少なく、古くからの個店が多い
○お祭りのイベント多い

「魅力ある個店」や「安定した雇用の場」の充実が必要
○遊びに来る方が少ない
○農業者に対する支援や協力が少ない



満足度/重要度
分析結果

現状維持・
改善
を図る分野



【まちの現状・社会動向】

産業

市内の事業所数
2016 2021

ほぼ横ばい

(2,657社
2,695社)



経営耕地面積

2015 2020

8.2%減少

(3,411a
3,133a)



にぎわい

3年前と比べて
にぎわいがあると思
う市民の割合
2025

14.4%



【主な課題・取組】

- ▼国立駅・谷保駅・矢川駅周辺の活性化・にぎわいの創出
- ▼農の営みが残る原風景の保全
- ▼まちの回遊性を高める移動環境の確保
- ▼公共施設・公共空間を活用したにぎわいの創出 など

5 安全で快適なみちづくり

現行計画における取組状況

計画的な道路整備の推進

既存の道路空間の安全性・快適性の向上

だれもが安心、安全な道路のユニバーサルデザイン化及びバリアフリー化の推進

地域の公共交通体系の充実

自転車の安全利用の推進

【実施した主な取組】

- ▼都市計画道路の整備(3・4・10)・事業認可取得(3・4・8)
- ▼狭あい道路の拡幅や道路等長期修繕計画に基づく計画的な道路補修
- ▼道路損傷等通報システム(くにたちガイド)の導入 など

【継続する主な取組】

- ▼都市計画道路等の整備の推進
- ▼南部地域における道路整備の推進
- ▼JR南武線立体交差事業による踏切対策
- ▼自転車通行空間の整備 など

自転車駐車場の定期利用待機者数<目標:0人>

414人
(2016) 0人
(2024)

コミュニティバス「くにっこ」の年間乗車人員<目標:300,000人>

278,160人
(2016) 298,859人
(2024)

道路施設に起因する事故件数(4年累計)<目標:0件>

2件
(2013~2016) 0件
(2021~2024)

都市計画道路の整備率<目標:40.5%>

38.1%
(2016) 46.0%
(2024)

歩道の改良率

<目標:28.9%>
18.3%
(2016) 26.7%
(2024)

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



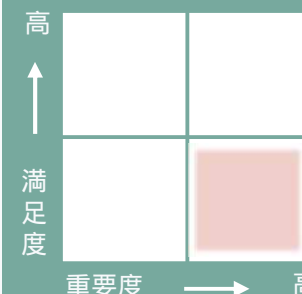
- 市全体で交通量が少ない
- JRの2路線利用できて歩ける範囲

都市計画道路の整備について自然環境の保全を踏まえた検討が必要
「自転車・歩行者の通行環境」や「公共交通」の充実が必要。
○歩行者・自転車・自動車が交錯して危険
○自転車で周遊できるまちになってほしい。



満足度/重要度
分析結果

重点改善
を図る分野



【まちの現状・社会動向】

都市計画道路

第五次事業化計画における優先整備路線の延長(都・市施行)
2026-2040

2,600m



交通事故

人口千人あたり
交通人身事故件数
2025

多摩26市中

9番目

に多い



自転車

シェアサイクル
月あたり利用回数
2019.5→2024.4

約11倍増加

(約1,000回
約11,000回)



【主な課題・取組】

- ▼道路網を構成する都市計画道路の整備・狭あい道路拡幅等の推進
- ▼JR南武線連続立体交差事業に伴う道路の整備
- ▼安全で快適な自転車歩行者空間の整備
- ▼地域の特性に応じた多様な交通手段の確保など

6 美しい景観を大切にするまちづくり

現行計画における取組状況

地域特性活かした
都市景観形成の推進

美しい街並みづくりの推進

都市景観形成に向けた
市民活動の促進

【実施した主な取組】

- ▼景観づくり基本計画・景観づくりガイドライン策定
- ▼都市景観形成条例及び大規模行為景観形成基準に基づく協議・指導の実施
- ▼まちづくり条例に基づく協議・指導の実施
- ▼クリーン多摩川清掃事業等の実施
- ▼自然景観・緑地保全
(崖線樹林地の公有地化) など

【継続する主な取組】

- ▼都市景観形成重点地区等や重要景観資源の指定による景観の保全・向上・創出
- ▼大規模な開発行為に対する景観の誘導
- ▼市民の景観への関心・共有意識の醸成 など

都市景観形成条例に基づく 届け出の件数(累計)

<目標:905件>

626件
(2016)  **843件**
(2024)

都市景観形成重点地区を 指定した地区の数(累計)

<目標:4地区>

2地区
(2016)  2地区
(2024)

国立市全体が美しい 街並みを保全・形成し ていると思う市民の 割合<目標:85.0%>

79.3%
(2016)  **80.1%**
(2024)

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



大学通り等のシンボリックな
景観

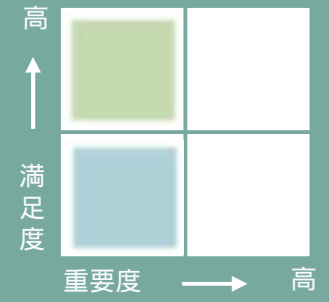
- ネオンのギラギラ感がなくていい
- 農地や用水路のある景観

- 国立市のシンボルとなる景色や建物があるとよい
- 農地景観の保全。農地が減るのが心配
- 矢川の景観と自然環境をどう保全するか



満足度/重要度
分析結果

現状維持・
改善
を図る分野



【まちの現状・社会動向】

水田

作付面積
2016 2024

32%減

(665a 453a)

歴史・文化

市内の歴史・文化遺産
が地域の資源として
活用されていると思う
市民の割合
2025年時点

37.1%

重要景観資源 指定件数 2025年時点

0件

【対象】
景観形成上重要な
建築物や木竹等

【主な課題・取組】

- ▼崖線、矢川などの自然や農の景観の保全
- ▼くにたちらしい街並みの保全・形成
- ▼地域に継承された歴史・文化的資源の保全
- ▼都市景観形成重点地区・重要景観資源の指定 など

分野ごとの点検・評価

7 安全に暮らせる災害に強いまちづくり

現行計画における取組状況

地震や火災等に強い
まちづくりの推進

水害に強い
まちづくりの推進

自助・共助に支えられた
防災体制の充実

【実施した主な取組】

- ▼地震の被害想定を踏まえた国立市総合防災計画の修正
- ▼土砂災害等ハザードマップの作製
- ▼特定緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化
- ▼雨水総合管理計画の策定
- ▼公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づく公共下水道の更新 など

【継続する主な取組】

- ▼災害時の避難路・輸送路となる道路整備
- ▼JR南武線立体交差化等による踏切解消と緊急輸送道路の機能充実
- ▼自助・共助による地域の防災体制の充実 など

住宅の耐震化率

<目標:95.0%>

84.1%
(2013)

93.6%
(2023)

重要路線の地震対策率

<目標:50.0>

32.5%
(2016)

100%
(2024)

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率

<目標:95.0%>

40.0%()
(2016)

40.0%
(2024)

建築物除去による数値の補正あり

【主な市民意見】

: アンケート ○ : ワークショップ



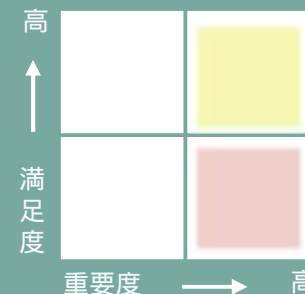
- 比較的安全なまち
- 防災マップがしっかりしている
- 防災センターがある

- 通学路が狭い
- 実際に災害が起きたときの動きがどうなるか不安
- 町内会組織や地域活動の強化が必要



満足度/重要度
分析結果

重点維持・
重点改善
を図る分野



【まちの現状・社会動向】

地震

立川断層帯地震の
火災消失被害想定

2,897棟
(全体の17.9%)



短時間豪雨

100mm/1h以上の
降雨回数の10年平均
1976-1985
2016-2025

100%増加
(2.2 4.4)

全国
1,300地点



猛暑

熱中症による
搬送人員数
2019 2025

82%増加
(28人 51人)



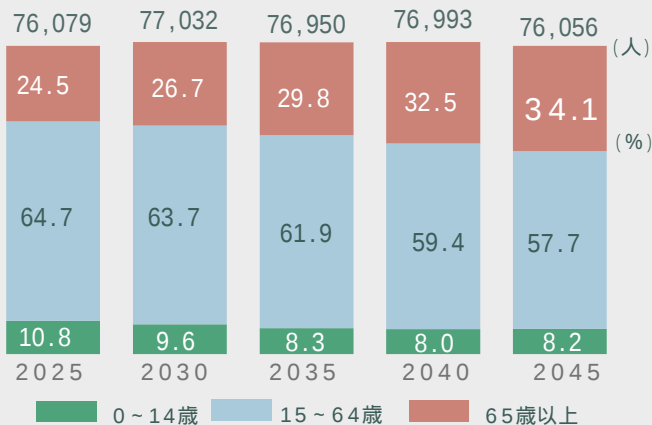
【主な課題・取組】

- ▼ 日常的な安全と緊急時・災害時の移動や防災機能も兼ねた道路整備
- ▼ 老朽化が進むインフラ施設の計画的な更新
- ▼ 局地化・激甚化する豪雨や猛暑の被害を軽減させるための下水道の雨水対策・グリーンインフラ等の活用 など

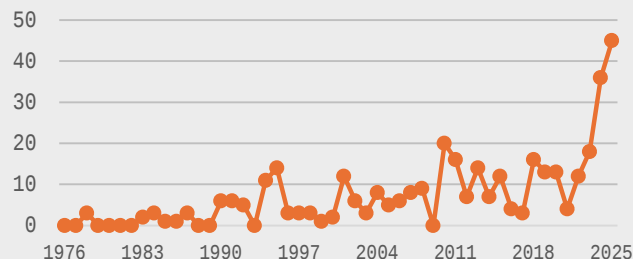
改訂の背景

人口規模が維持される中でも進行する「少子高齢化」、生態系や市民生活に影響を及ぼす「気候変動」、そして激甚化する「大規模災害」など、都市を取り巻く環境は大きく変化しています。

人口・人口構成比の変化(予測)



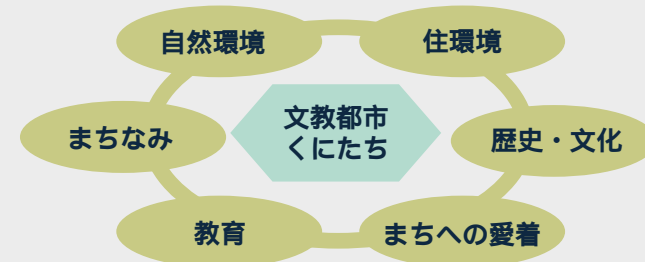
年間の猛暑日(35度以上)日数(府中)
[1976 - 2025]



将来にわたり国立市が「選ばれるまち」であり続けるためには、国立ならではの魅力を引き継ぎながら、これらの社会課題に適応したまちづくりを進めていく必要があります。

改訂にあたっての視点

1 「文教都市くにたち」を守り育てるまちづくり
アンケートやワークショップなどで頂いた御意見も参考に、これまでのまちの成り立ちを踏まえ、将来に引き継ぐべき魅力を再整理したうえで、国立市を象徴する言葉であり、都市の理想の姿でもある「文教都市くにたち」を守り育てるまちづくりを進めていきます。



2 持続可能なまちを実現させる「まちづくりにおける3つの横断的視点」
持続可能なまちを実現するため、各分野を横断する「3つの視点」を新たに設定します。

<横断的視点1> 健幸まちづくり

- ▼ 誰もがいつまでも住み慣れた地域で、心豊かに暮らせるまちづくり
- ▼ 健康になるための仕組みをまちづくりに取り入れていくハード面の施策を推進
- ▼ 誰でも移動がしやすいウォークアブルなまちづくりの推進

<横断的視点2> 気候変動対策・生物多様性

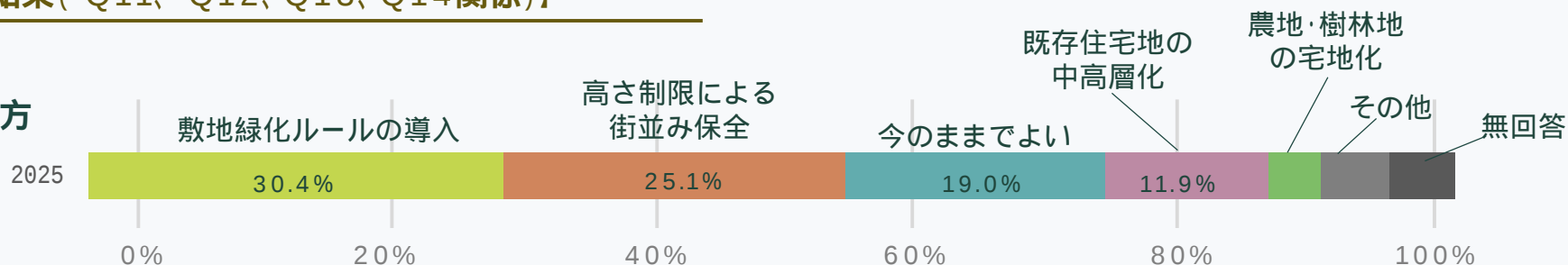
- ▼ 自然(グリーンインフラ)を活かした社会課題の解決による、みどりの積極的な創出
- ▼ 生物多様性に配慮した都市空間の形成
- ▼ ゼロカーボンシティの実現に向けた環境負荷の少ない持続可能なまちづくり

<横断的視点3> 大規模災害への備え(フェーズフリー)

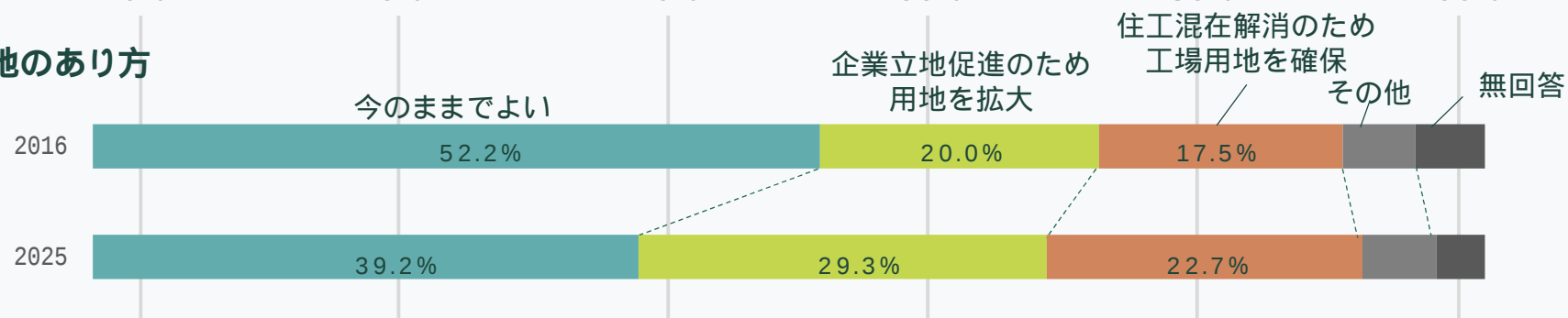
- ▼ 普段の歩きやすい道や交流の場の整備による、災害時の確実な避難経路や防災拠点の確保
- ▼ 豪雨時の浸水や火災の延焼を防ぐグリーンインフラとしてのみどりの保全・創出
- ▼ 誰もが参加できる日常的な交流による、災害時の円滑な情報共有と共助の促進

【市民アンケート結果(Q11、 Q12、 Q13、 Q14 関係)】

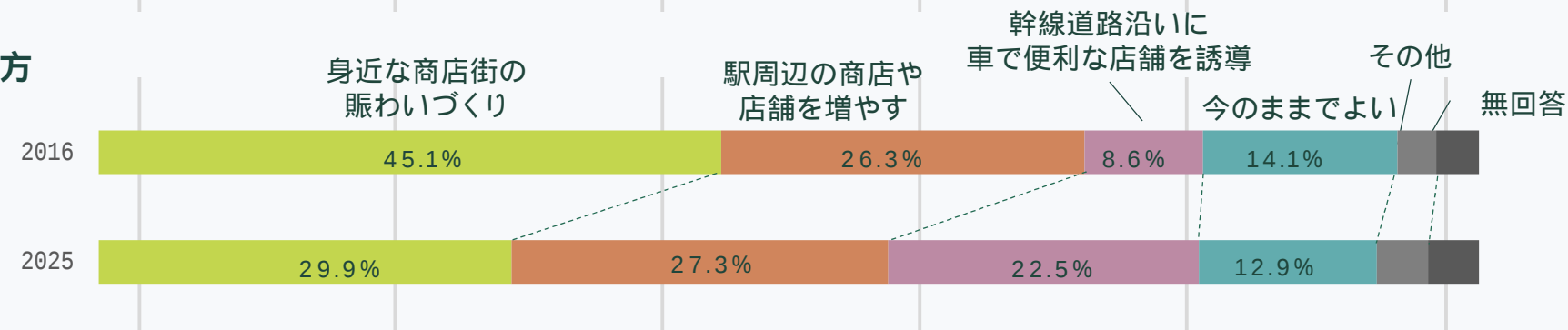
住宅地のあり方



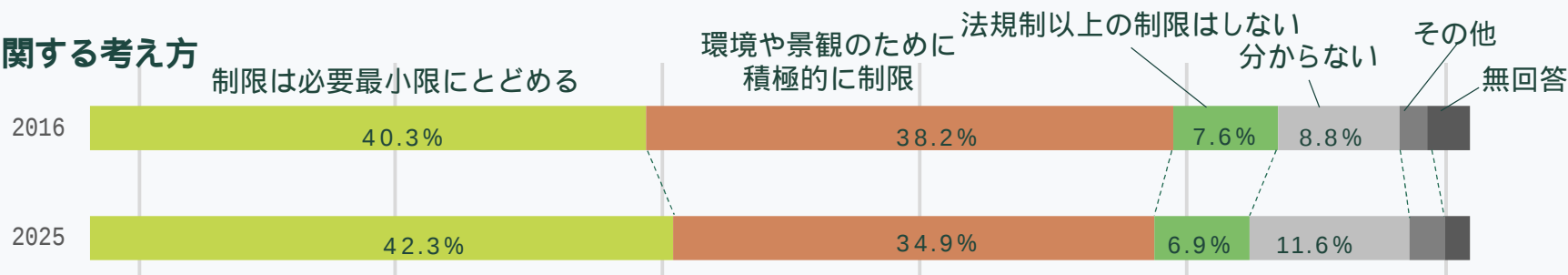
産業・業務用地のあり方



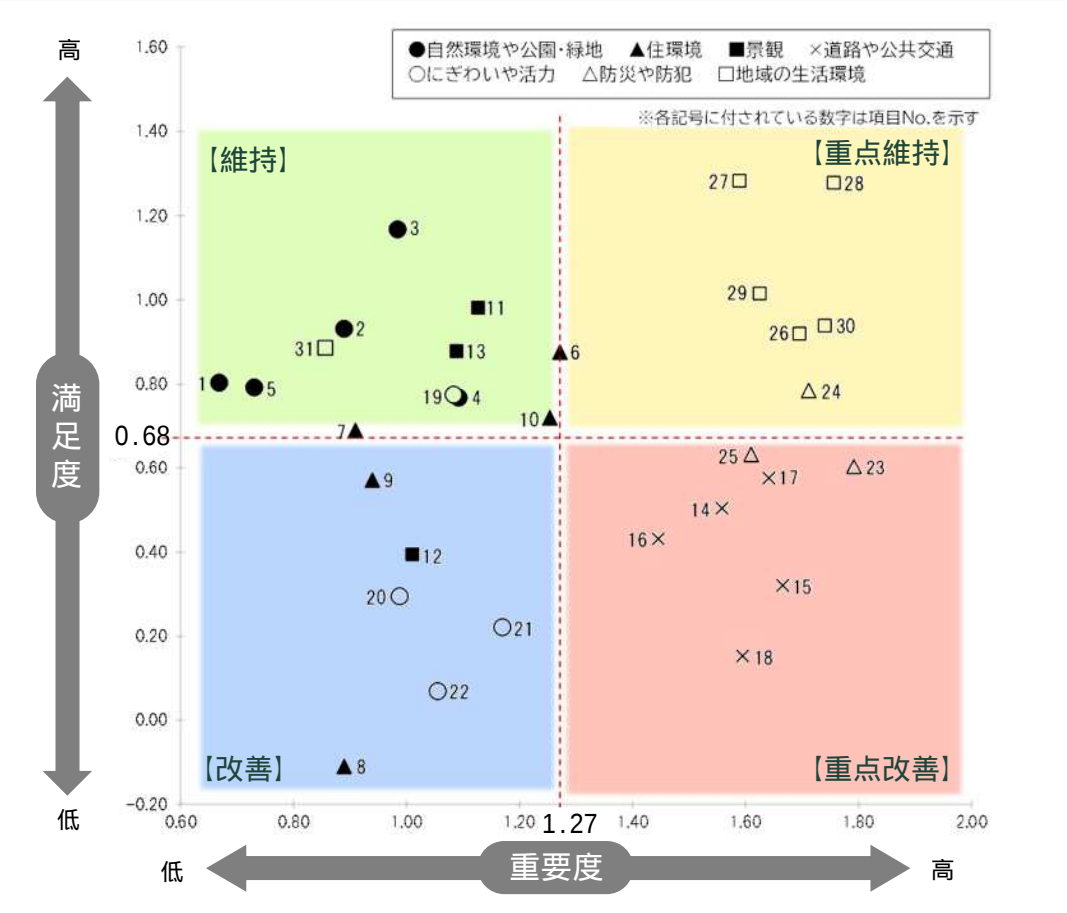
商業地のあり方



土地利用等に関する考え方



【市民アンケート結果(満足度/重要度 分析結果)】



▼全施策の満足度・重要度の平均値を基準に評価

▼グラフの4つのエリアは次のように分析

満足度:高/重要度:高(グラフ右上) = 重点的に現状維持を図る施策【重点維持】

満足度:高/重要度:低(グラフ左上) = 現状維持を図る施策【維持】

満足度:低/重要度:低(グラフ左下) = 改善の必要がある施策【改善】

満足度:低/重要度:高(グラフ右下) = 重点的に改善を図る必要がある施策【重点改善】

本図は本計画内の施策に基づくアンケート結果の相対評価(平均値基準)であり
市政全般の評価ではありません。

	No.	項目	満足	重要
自然環境	1	河川や用水路等を活かした親水空間づくり	0.80	0.67
	2	地下水や湧水のきれいさ	0.93	0.89
	3	花と緑のまちづくり	1.17	0.98
	4	公園や緑地の利用のしやすさ	0.77	1.09
	5	公共施設や民有地の緑化	0.79	0.73
住環境	6	自然環境を感じられる、ゆとりと潤いのある住環境の形成	0.88	1.27
	7	様々な世代が住み続けられる住まいづくり	0.69	0.91
	8	空き家の適正な管理と活用	▲0.11	0.89
	9	人にやさしいまちづくり	0.57	0.94
	10	子育てがしやすい環境の充実	0.72	1.25
景観	11	住宅地の美しい街並みづくり	0.98	1.13
	12	商業地らしいにぎわいや、やすらぎのある街並みづくり	0.39	1.01
	13	農地や樹林地、水辺などの自然景観の美しさ	0.88	1.09
道路や公共交通	14	計画的な道路の整備	0.50	1.56
	15	既存の道路空間の安全性・快適性の向上	0.32	1.67
	16	魅力ある歩行空間のネットワークづくり	0.43	1.45
	17	鉄道やバスなどの利用のしやすさ	0.58	1.64
	18	自転車が安全に利用できる環境づくり	0.15	1.60
にぎわい	19	国立駅周辺の交流とにぎわいづくり	0.78	1.08
	20	谷保駅・矢川駅周辺のにぎわいづくり	0.30	0.99
	21	道路沿いの商店街などの活性化	0.22	1.17
	22	魅力的な企業の呼び込み	0.07	1.06
防災	23	地震や火災等に強いまちづくり	0.60	1.79
	24	水害に強いまちづくり	0.78	1.71
	25	自助・共助による防災体制の充実	0.63	1.61
生活環境	26	騒音・振動・異臭などの公害への対策	0.92	1.70
	27	日当たりや風通しの良さ	1.28	1.59
	28	ごみの収集状況	1.28	1.76
	29	雨水排水の状況	1.02	1.63
	30	道路や上下水道などの施設の維持管理	0.94	1.74
	31	近所づきあい	0.89	0.86

(下線は平均以上)